

7月21日（火） カタツムリ2

カタツムリの^{はなし}話をするのは、²回目です。最近、^{さいきん}豊小で
も^は葉っぱの^{うえ}上を、カタツムリがいきいきと^{ある}歩いているのをよ
く^み見るようになりました。

カタツムリは、もともと、じめじめした^{くうき}空気が^す好きな^い生き
物^{もの}です。空気がじめじめしてくる（^{くうき}空気の中の^な水の^{みず}量^{りょう}が増え
ると）^{よる}夜に^{うご}動き^{まわ}回っているようです。梅雨の、この^{じき}時期は、
^{あめ}雨が^ふ降る日も^ひ多く、一日を^{いちにち}通して^{とお}じめじめしているので、^{よる}夜
だけでなく^{ひるま}昼間も、いきいきと^{ある}歩いているのです。

では、^{くうき}空気が^{かわ}乾いている^{ひる}昼や、梅雨以外の^{きせつ}季節は、カタツ
ムリはどこで^す過ごしているのでしょうか。^{かんそう}乾燥が^{にがて}とても苦手
なカタツムリは、^み身を守るために^{まも}草花の^{くさばな}かげや^{うえき}植木^{した}ばちの下
などで、^とからに^と閉じこもって、ジッと、じめじめしてくるの
を^ま待っているようです。だから、「カタツムリが^{くさ}草の^{うえ}上に出た
ら^{あめ}雨が^ふ降る」と^い言われているのです。

カタツムリを^み見ないようになると、^{つゆ}梅雨が^あ明け、^{あつ}暑い^{なつ}夏に
なるのでしょうか。皆^{みな}さんが^{げんき}元気に^{こうてい}校庭で^{あそ}遊べる日は、カタ
ツムリは、じっとどこかに^{かく}隠れているのです。

村越 新